

# 令和4年度 国語（書写）第1学年 年間指導・評価計画 中野区立第二中学校

（評価規準：【A】十分満足できる，【B】おおむね満足できる）

期	時間	ページ	教材名	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	適時	①・1	詩 「ふしぎ」 金子みすゞ	○よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】小学校で学習した姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを理解している。字間・行間を理解して、行が曲がらないように書いている。 【A】姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方などを的確に捉えている。字間・行間を理解して、行が曲がらないように字形を整えて書いている。	【B】小学校で学習した内容を確認している。 【A】小学校で学習した内容を確認し、自己の課題を捉えている。	【B】詩を書く学習をとおして、書写活動に意欲的に取り組んでいる。 【A】詩を書く学習をとおして、書写学習に課題意識をもって、意欲的に取り組んでいる。	
	適時	2・3	目次 第一学年	○第一学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板				
	適時	4・5	目的に合わせて書こう	○さまざまな角度から文字に対する関心を深め、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 ○中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】目的に合わせて書くことを理解している。 【A】目的に合わせて書くことを理解し、他教科や日常生活へ広がることを把握している。	【B】目的に合わせて書くことを知り、その効果について考えている。 【A】目的に合わせて書くことを知り、その身近な文字の効果捉えている。	【B】目的に合わせて書くことに興味をもち、書写学習への意欲を高めようとしている。 【A】目的に合わせて書き、書写の学習の成果を、他教科や日常生活へ広げようとしている。	
	適時	6・7	姿勢と用具の使い方	○小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを理解している。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを的確に捉えている。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを確認している。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを確かめ、把握しようとしている。	【B】姿勢・執筆、用具の扱いなどを正しく把握しようとしている。 【A】姿勢・執筆、用具の扱いなどを自らすすんで知ろうとしている。	
	適時	8・9	学習の進め方	○学習の進め方を理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】書写の学習の進め方を理解している。 【A】書写の学習の進め方を的確に捉えている。	【B】書写の学習の進め方を確認している。 【A】書写の学習の進め方を考え、自己の課題を捉えている。	【B】書写の学習の進め方を理解しようとしている。 【A】書写の学習の進め方を、自らすすんで知ろうとしている。	
	適時	10	書写をとおして学んでいくこと	○中学校三年間における書写の学習内容や目標、各学習内容の関係性を理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解している。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】書写の各学習内容の関係性を捉えている。	【B】中学校三年間における書写の学習内容や目標を、把握しようとしている。 【A】書写の各学習内容の関係性を理解しようとしている。	
	適時	11	扉 第一学年	○第一学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】第一学年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きることを理解している。	【B】第一学年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】第一学年における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。	【B】第一学年における書写の学習内容や目標を、把握しようとしている。 【A】第一学年における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。	
			12・13	学習内容を効果的にノートに書こう	○ノートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】ノートの書き方を理解している。ノートの書き方を理解して書いている。 【A】ノートの書き方を理解し、調和よく書くための方法を把握している。ノートの書き方を理解し、字形を整えて書いている。	【B】ノートの書き方を考えている。 【A】ノートの書き方を考え、調和よく書くための自己の課題を見つけて、解決方法を考えている。	【B】ノートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
	4	14~21	一 楷書で書こう	単元目標 ○日常生活で最も多く使われている楷書を、字形を整えて書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板				

期	時間	ページ	教材名	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		14・15	1 筆使い —基本点画— ・基本点画の種類	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。	【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。	【B】基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		16～19	2 筆使いと字形 「天地」	○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、字形に注意して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して書いている。 【A】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉えている。基本点画の筆使いや組み立て方を理解して、字形を整えて書いている。	【B】楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。 【A】基本点画の筆使いや組み立て方が、漢字のどの部分にあてはまるか判断している。	【B】基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 【A】基本点画を把握し、その解決に向け意欲的に取り組んでいる。
		20・21	3 学習を生かして書く —字形、筆順—	○字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 ○毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】字形の整え方、筆順の原則を理解している。字形の整え方、筆順の原則を理解して、正しい筆順で書いている。 【A】字形の整え方、筆順の原則を理解し、他の文字の筆順も的確に捉えている。毛筆で学習したことを硬筆にも生かして書いている。	【B】字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認している。 【A】字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認し、把握している。	【B】字形の整え方、筆順の原則を知ろうとしている。 【A】字形の整え方、筆順の重要性を考えて、意欲的に取り組んでいる。
		22・23	(コラム) 筆、墨、硯、紙について知ろう【適時】	○書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマに沿って、調べることができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】筆、墨、硯、紙の製造過程を知り、その特性について理解している。 【A】筆、墨、硯、紙の製造過程を知り、その特性についての的確に捉えている。	【B】筆、墨、硯、紙についてわかったことなどを話し合い、まとめている。 【A】筆、墨、硯、紙についてテーマをもって調べ、積極的に考えて書いている。	【B】書写で使用されている用具・用材の製造過程に興味・関心をもっている。 【A】書写で使用されている用具・用材に関心をもち、それらを大切にしている心情や態度をとっている。
4		24～33	二 楷書と仮名を調和させて書こう	<b>単元目標</b> ○平仮名の筆使いや字源を理解し、楷書に調和する仮名の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○楷書と仮名の調和を考えて書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板			
		24・25	1 筆脈 「いろは歌」	○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解している。平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書いている。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列を的確に捉えている。平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して、字形を整えて書いている。	【B】紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。 【A】紙面全体の調和を考えて、筆使いや筆脈、配列を的確に捉えている。	【B】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。 【A】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		26・27	2 楷書に調和する仮名 「いろは歌」	○楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 ○「いろは歌」や五十音表について理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】楷書に調和する仮名の筆使いを理解している。楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いを理解し、字形を整えて書くことを把握している。楷書に調和する仮名の書き方を習得して、字形を整えて書いている。	【B】楷書に調和する仮名の筆使いについて考えている。 【A】楷書に調和する仮名の筆使いの特徴について、適切に判断している。	【B】楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 【A】自己の課題を設定し、その解決に向けて、意欲的に取り組んでいる。
		28・29	3 学習を生かして書く —行の中心— ・『竹取物語』	○漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解している。漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心を理解し、調和よく書くことを把握している。漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して、字形を整えて書いている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心を考えている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心について、適切に捉えている。	【B】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとしている。 【A】漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて、意欲的に書こうとしている。

期 時間	ページ	教材名	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	30・31	4 学習を生かして書く 一配列一 ・校庭の植物観察をレポートにまとめる	○メモの取り方やレポートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】メモの取り方やレポートの書き方を理解している。レポートの書き方を理解して書いている。 【A】メモの取り方やレポートの書き方を理解し、調和よく書くための方法を把握している。レポートの書き方を理解し、字形を整えて書いている。	【B】メモの取り方やレポートの書き方を考えている。 【A】メモの取り方やレポートの書き方を考え、調和よく書くための自己の課題を見つけて、解決方法を考えている。	【B】メモの取り方やレポートの書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
	32・33	・手紙を書く	○手紙の基本的な書き方を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】手紙の書式と、文字の大きさや配列を理解している。手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して書いている。 【A】手紙の書式と、文字の大きさや配列を把握し、調和よく書くことを理解している。手紙の書式に従って、文字の大きさや配列を理解して、字形を整えて書いている。	【B】手紙の書式に従って、文字の大きさ、配列を考えている。 【A】用紙の形や書式を考えて、文字の大きさや配列を適切に捉えている。	【B】日常生活での書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活で書かれる身近な文章について、形式を整えて書こうとしている。
	34・35	(コラム) 季節の行事と書写 【適時】	○書写の学習を学校生活のどのような場面で生かすことができるか、話し合うことができる。 ☆活用するICT 電子黒板			
	36・37	5 学校生活に生かして書く ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く (ポスターセッション用)	○伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を理解している。さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して書いている。 【A】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を把握し、調和よく書くことを理解している。さまざまな書式に従って、配列や用具を理解して、字形を整えて書いている。	【B】伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を考えている。 【A】さまざまな用紙の形や書式を考えて、配列や用具を適切に捉えている。	【B】他教科や日常生活の中の書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】日常生活の中で書かれる身近な書式について、形式を整えて書こうとしている。
	38・39	【コラム】文字の変遷 【適時】	○文字の変遷について関心をもつことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】文字の変遷について理解している。 【A】文字の変遷について理解し、書写学習の参考にしていく。	【B】文字の変遷について考えている。 【A】文字の変遷について理解したことを、活用できる形で記録している。	【B】文字の変遷について興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】文字の変遷について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。
9	40~53	三 行書で書いてみよう	単元目標 ○行書の特徴について、楷書と比較して理解することができる。 ○点画の変化や連続、省略を理解して書くことができる。 ○行書の学習の成果を日常生活に生かすことができる。 ☆活用するICT 電子黒板			
後期	40・41	1 行書学習のはじめに	○残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解している。 【A】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かをよく理解している。	【B】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを考えることができる。 【A】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを的確に捉えている。	【B】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを知ろうとしている。 【A】残されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを意欲的に知ろうとしている。
	42・43	2 楷書と行書の違い 「和」	○楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】楷書と行書の特徴の違いを理解している。 【A】楷書と行書の違いをよく理解している。	【B】楷書と行書の特徴の違いに気づいている。 【A】楷書と行書の特徴の違いを的確に捉えている。	【B】楷書と行書の違いを知ろうとしている。 【A】楷書と行書の違いを理解し、行書の特徴について知ろうとしている。

期	時間	ページ	教材名	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		44・45	3 行書の筆使い 「大」	○行書の筆使いを確かめることができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】行書の特徴を知り、行書の筆使いについて理解している。行書の筆使いを確かめて書いている。 【A】行書の特徴を知り、行書の筆使いについてよく理解している。行書の筆使いを理解して書いている。	【B】行書の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書の筆使いについて、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】行書の特徴や筆使いなどを知らうとしている。 【A】行書の特徴や筆使いについて意欲的に知らうとしている。
		46・47	4 点画の連続と変化1 「大木」	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。 【A】点画の連続と形の変化の筆使いを的確に捉えている。点画の連続と形の変化の筆使いを理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の連続と形の変化を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と形の変化から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
		48・49	5 点画の連続と変化2 「栄光」	○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】点や横画からの連続の筆使いを理解している。点や横画からの連続の筆使いに気をつけて書いている。 【A】点や横画からの連続の筆使いを的確に捉えている。点や横画からの連続の筆使いに気をつけて、字形を整えて書いている。	【B】点や横画からの連続の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点や横画からの連続の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点や横画からの連続の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
		50・51	6 点画の連続と省略 「平和」	○点画の連続と省略を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】点画の連続と省略の仕方を理解している。点画の連続と省略の仕方を理解して書いている。 【A】点画の連続と省略の仕方を的確に捉えている。点画の連続と省略の仕方を理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の連続と省略の筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続と省略の筆使いから自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】行書における学習課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
		52・53	7 学習を生かして書く 一行書の特徴一	○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を理解している。これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を把握し、硬筆で字形を整えて書くことを理解している。これまでに学習してきた行書の特徴を理解し、硬筆で字形を整えて書いている。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴から、自己の課題を考えている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】これまでに学習してきた行書の特徴を硬筆で確かめている。 【A】これまでに学習してきた行書の特徴を確かめて、硬筆で意欲的に取り組んでいる。
		54	(コラム) 暮らしの文字を支える人々 【適時】	○さまざまな活字が活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解し、職業観を意識することができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解している。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることを理解している。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることについて考えている。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることについて考えている。	【B】さまざまな活字が、活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを知らうとしている。 【A】手書きでデザインされた活字が、印象や用途によってさまざまに活用されていることを知らうとしている。
I	3	129～132	書き初めを書く 「新たな決意」 「世界遺産」	○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ☆活用するICT 電子黒板	【B】楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。 【A】筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して、調和よく書くことを把握している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。 行書の特徴や配列についてよく理解している。行書の特徴や行の中心を理解して、字形を整えて配列よく書いている。	【B】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。 行書の特徴や配列について考えている。 【A】紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を的確に捉えている。 行書の特徴や配列について理解し、調和のさせ方を考えている。	【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。 自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。